

「特別支援教育に活かす ICT 機器やデジタル教材-合理的配慮を踏まえて-」

日時	平成29年7月27日(木)	受講者	71名
目的	ICT 機器等を活用した実践例の紹介や演習等を通じた研修を行い、合理的配慮を踏まえた活用の在り方や実践力の向上を図る。		
講義	「合理的配慮を踏まえた ICT 機器やデジタル教材の活用」	特別支援教育センター 指導主事 遠藤 薫	
実践発表	「一人一人の力を引き出す教材・支援機器の活用」	会津支援学校 教諭 中野 正貴 氏	
演習	「ICT 機器 (タブレット端末等) やデジタル教材の体験」	郡山北工業高等学校 実習助手 船山 卓也 氏	
協議	「授業における ICT 機器やデジタル教材の活用と工夫」	特別支援教育センター 指導主事 7名	
		特別支援教育センター 指導主事 渡部 和 幸	
<p><講義> 「合理的配慮を踏まえた ICT 機器やデジタル教材の活用」 ICT 機器やデジタル教材はどのようなもので、なぜ使用するのかということや、合理的配慮の観点や合理的配慮の決定に当たったの基本的な考え方などを確認しました。また、合理的配慮やユニバーサルデザインの視点を踏まえた ICT 機器等の活用例を紹介しました。</p> 	<p><実践発表> 「一人一人の力を引き出す教材・支援機器の活用」 会津支援学校の中野正貴先生から、国立特別支援教育総合研究所で研修してきた内容や、研修内容を踏まえて取り組んできた実践についてお話いただきました。実践例では「アプリを活用して作成した産業現場等における実習の反省を、タブレットを操作して自分から発表する例」など人前で発表することが苦手な生徒が意欲的に取り組む姿を紹介していただきました。</p> 		
<p><演習> 「教材・支援機器 (タブレット端末等) の体験」 4つのグループに分かれて体験を行いました。 ① 「教材支援機器の紹介」では、郡山北工業高等学校の船山卓也先生より、同校生徒と肢体不自由特別支援学校が連携して制作した教材・支援機器についての紹介やその取組について説明をいただきました。 ② 「テレビ会議システムの活用」では、Google アプリ「ハングアウト」を活用して中継を行い、実際の授業場面での活用方法について説明を行いました。 ③ 「個別の指導、支援での活用」では、「読む・聞く」「書く」「計算する」などの無料アプリやビジョントレーニングを提示し、授業での活用の仕方について説明し、参観者に体験していただきました。 ④ 「授業のユニバーサルデザインの視点での活用」では、通常の学級におけるipadの活用やデジタルコンテンツ等の活用について紹介しました。</p>  	<p><協議> 「授業における ICT 機器やデジタル教材の活用と工夫」 講義や実践発表、演習などから得た情報をもとに、2学期の授業で活かしていきたいことをワークシートに整理しました。また、グループに分かれ、それぞれの学んだことを出し合い、新しいアイデアや参考になることなどについて協議しました。ICT 機器等をどのように授業で活用していくかを話し合うことができました。</p> 		
受講者の感想			
○演習などを通して、どのようにICT機器を活用していくのかを学ぶことができました。(小学校教諭)			
○ICT 機器の活用で環境面で困難さもありますが、できることもたくさんあり、取り入れていきたいです。(中学校教諭)			
○協議では、他校種との先生方とICT機器の活用について情報交換ができて参考になりました。(高等学校教諭)			
○ICT 機器は、使用することが目的ではなく、子どもの力を最大限に伸ばすための一つの手立てとして活用することが大切だと学ぶことができました。(特別支援学校教諭)			